

協力隊ニュース

10

2025年に着任した5人の地域おこし協力隊員、高橋奈美恵、相澤信三、山田聖義、白髭晴子、白髭真二によるアクティビティレポート第5弾。

協力隊とお茶しませんか in Silk&Soy



去る九月十日、東条にある古民家カフェ「Silk&Soy」やんこっ、「協力隊とお茶しませんか」という交流イベントを開催しました。「Silk&Soy」やんこは、築160年の古民家を改装した趣のあるカフェで、かつては溜まり醤油の醸造や養蚕が行われていたという歴史が



らその名が付けられた、コーヒーや紅茶、自家製のケーキやお料理もとっても美味しい素敵な空間です！

私たちが筑北村に着任してから数ヶ月。それぞれの活動に日々奮闘する中で、村民の方々から「協力隊はどこで何をしているの？」「今年の協力隊はどんな人たち？」といった声を耳にすることがありました。

そこで、まずは私たち隊員一人ひとりの人柄や活動内容を、村の皆さんにもっと気軽に知っていた



だきたい。私たちももっと村の色んな方々にお会いしたい。そんな思いから、お茶を飲みながらざっくばらんにお話しできるこのイベントを企画しました。当日は予想を上回る多くの方々に越しいただき、大盛況となりました。

今回の協力隊ニュースでは、このイベントを通して各隊員が感じたこと、考えたことをそれぞれの視点からお伝えします。

お茶して 見えたもの



産業課：山田 聖義
@where_to_wear_

始めて開催した協力隊イベント「協力隊とお茶しませんか？」は大盛況でした。隊員同士でも初めて知ることが多く、また地域の方とも顔を合わせて話せたので企画できて良かったです。

私が今回のイベントで印象的だったのはみんなのエネルギーの強さでした。人が集えば会話が生まれ、会話の内容には想いが溢れている。相手がどんな人かと知ろうとする言葉や、村の未来を考えて出てくる言葉、その人が経験してきた人間味溢れる言葉など、このエネルギーを感じられるのは面白かったです。

ネットやスマホなど技術が発達して受け取れる情報や動画が増えました。でも、今回のイベントのようなエネルギーは受け取れない。



い。そこにどんな違いがあるのでしょうか。デジタルなものが便利・良いとされる時代に、アナログなものは際立っていると私は感じます。筑北村はどちらかというとい意味でアナログなのではないでしょうか？そこをどうしたら活かせるのか…。私が気になっていることです。



会話と対話



企画財政課：高橋 奈美恵

人に話をする、人と話をすることは自分を客観視することのできる大切な時間なのだと思えて感じた『協力隊とお茶しませんか？』。

他愛のない話題を純粋に楽しんだり、ひとつのことに対しての考えや感じ方を伝えあったり。ご提供いただいた会場の素敵な雰囲気も相まって、とてもよい時間を過ごした。



村民なら知っている筑北村の謎に挑戦！

ちくほく謎解き スタンプラリーをご存知ですか

それぞれのチェックポイントで、合併20周年を迎えた筑北村の謎解きクイズに答えて、スタンプを集めてください。

チェックポイントはご存知のあそことあそこ。

1. 西条駅
2. 坂北駅
3. 冠着駅
4. 筑北村役場
5. 筑北村図書館
6. 坂井支所
7. 西条温泉とくら
8. 坂北荘
9. 冠着荘
10. ふるさと館
11. 道の駅さかきた
12. まんだらの荘
13. ふれあい広場
14. サッカー場
15. やすらぎスポーツ広場
16. 大滝
17. 風越し峠（展望台）
18. 大切通し
19. 差切峠
20. 青柳城跡公園

今度の土日
久しぶりに
行ってみませんか

携帯電話でスキャン



賞品もあろうよ
締切はあとわずか 10月26日(日)

詳細はこちらから <https://www.vil.chikuhoku.lg.jp/kanko/event/4416.html>



観光課：
相澤 信三



「ごすことができました。色々な方の色々なお考えやアイデア、そこから発展していき新たな何かが生まれるような気がするひと時でした。」

「会話も対話もどちらも兼ねそろえた『協力隊とお茶しませんか?』。お茶会にはちよつと...。と感じる方もいらっしゃるかもしれませんので、協力隊を見掛けた際にぜひお声掛けいただけたら嬉しいです！」

「次回の開催も楽しみにしています！」

来やすい

という魅力



産業課：白髪晴子
@haremani_haruko

今回の企画で、村民の方々とじっくりお話しし、「筑北村をどう思っていますか?」というみなさんの心の中の想いをすんなりお聞きすることができました。そのなかで、最も多く聞かれたのが「筑北村は便利だ!」という声でした。

「刃が通っている・スマートインターがある・新幹線が通る上田駅にも出やすい」

周辺地域と比べても、これらが揃っているのは「極めて便利!」だと、多くの方が実感しているようでした。この「便利さ」は、私たちが自信を持ってアピールできる、筑北村の大きな魅力なんですね。

実はこの「お茶しませんか?」というタイトルは、昔、私たち夫婦が対話を重ねるために配信していたポッドキャストのタイトルでした。忙しい日常だからこそ、「あ



えて」時間をつくり、心ゆくまで語り合うことも大切だなと感じています。村民の方々の声をうかがい、「出やすい!来やすい!」というこの村の強みを、もっと村外の方にも知ってもらえるよう活動していきたいなと思いました。



編集後記

これは、ほんの始まり



産業課：白髪 真二
@hige0718

今回のイベントでは、私は力メラマンとして参加者の皆さんの様子を撮影させていただいてました。ファインダーを覗きながら私が感じていたのは、会場全体に満ちていた温かい「熱気」です。身振り手振りを交えながら持っている想いを語る人、それに真剣に耳を傾ける人、時には笑顔で、時には深く頷きながら質問を投げかける。その一つひとつの瞬間が、本当に生き活きとしていました。改めて、この村の事がもっと知りたい、皆さんの声を聞かせてほしい、そう思いました。

今回は本城エリアでの夜の開催でしたので、今後は様々な場所や時間帯でお茶する場を開いていけたらと私は思っています。今回のイベントはほんの始まりに過ぎません。またのご参加をお待ちしております!

第2弾！！

協力隊とお茶しませんか？



9月に開催した『協力隊とお茶しませんか？』では
終了後も参加者の皆さんがカフェの外で話し合いを続けられる
様子が見られました

今回は参加者の方からのご提案を受けて『公民館』での開催となります
皆さんが日頃考えていることや感じていることをお茶を飲みながら
ゆっくりとお話できたら嬉しいです

3時ちょうどのお茶の時間 皆さまのご参加お待ちしております！

日付：2025年11月12日(水)

時間：15:00～17:00

※受付開始 14:45

会場：筑北村公民館(坂井5711-1)

2階研修室

駐車場：筑北村公民館

会費：無料

※当日は急須で注いだ温かいお茶をご用意いたします🍵

※お茶請けの持ち寄り大歓迎です！



参加申込方法

(先着10名様程度)

- ・申込フォーム
- ・Instagram ・電話

上記いずれかの方法で
お申し込みください
電話 (0263-66-2111)

担当:企画財政課(高橋)



@CHIKUHOKU_NAGANO

申込フォーム インスタ